

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月24日更新

事務事業名		国土利用計画法に基づく土地利用規制等事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	政策部	課長名	高島圭二
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	まちづくり対策室	担当者名	原田和彦
	施策の柱	16	計画的な市街地の形成			所属班	まちづくり対策班	(内線)	1235
予算科目	会計一般	款2	項1	目9	事業連番11529	根拠法令	国土利用計画法		成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	国土利用計画法に基づき、合志市の一定以上の規模の土地売買について把握し、県へ報告する。また、過去の土地売買に関して、それが届出どおり適切に利用されているかを調査し報告する。国土利用計画法(昭和49年)に基づき適正な土地利用を推進するための各種業務が開始された。人口増加により市街化区域の宅地開発が進んでいる。
【業務の流れ】	国土法に基づく大規模土地取引の報告事務(市街化区域2,000㎡以上、調整区域5,000㎡以上)、農地の転用に関する実体についての調査事務、未利用地の使用状況に関する調査事務、市内の土地利用の現況に関する調査(市町村営住宅等の面積の把握)
【主な予算費目】	需要費、役務費
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	土地売買等届出事務、未利用地・遊休地・農地転用地の利用状況調査に係る事務を遂行し、消耗品費等を支出した。※届出件数：14件	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		土地売買等届出事務、未利用地・遊休地・農地転用地の利用状況調査
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア 土地売買等届出書提出数	件	届出件数が前年度実績と同程度で推移すると見込んだことによる
イ 未利用地、遊休地、農地転用地の利用状況調査件数	件	需用費、役務費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市内の土地の取引		(単位) 件
		→ ア 土地取引件数
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
国土利用計画法に基づき適正な取引がなされている。届出どおりの土地利用がなされている。		(単位) 件
		→ ア 土地売買等届出書違反事例数
		イ 届出どおり適正な土地利用がなされなかった件数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
適正な取引がなされているかを図るため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
① 活動指標	ア 件	件	38	7	5	14	5	5	5	5
	イ 件	件	0	0	0	0	0	0	0	0
② 対象指標	ア 件	件	568	0	0	0	0	0	0	0
	イ 件	件								
③ 成果指標	ア 件	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 件	件	0	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	54	102	58	91	92	80	80
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1			1	1		
		(A) 事業費計	千円	55	102	58	92	93	80	80
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	151	0	207	81	207	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	0	2	4	2	2	0	
	延べ業務時間	時間	38	0	52	22	52	0	0	
	(B) 人件費計	千円	151	0	207	81	207	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	206	102	265	173	300	80	80	

事務事業名	国土利用計画法に基づく土地利用規制等事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり対策室
-------	----------------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 土地売買等届出事務、遊休地の確認等を行う。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 都市計画課および農業委員会などの関係部署に協力依頼し、周知徹底を行い違反事例を減らす。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 土地売買等届出事務について、まだ周知が十分でなく無届等の違反事例が発生している。周知徹底を行い違反事例を減らす。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の業務はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 県から交付された必要経費の範囲内で業務を行っており、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で、効率的な事務を行っており、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志市の全ての土地取引を対象にしており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法定受託事務であるため移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

なし。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						